

科目「食品製造」において既習事項を基に自らの考えを まとめ、表現できる生徒の育成 —話し合い活動を通じた協働的な学習の工夫—

特別研修員 農業 松本良則(高等学校教諭)

生徒の実態

- ・座学で学んだ内容を実習に結び付けて考えることが苦手
- ・既習の事項を踏まえて自分の考えを表現することが苦手

目指す生徒像

既習事項を踏まえて自らの考えや意見をまとめ他者へ伝えられる生徒の育成

実践例

授業テーマ:パン製造実習の改善に向けて(単元:農産物の加工)

- 手立て1 個人活動
- 手立て2 ペア活動
- 手立て3 話し合い活動①
- 手立て4 話し合い活動②



手立て1

知識を基に考えを書き出す

ステップ1 → 製造実習で改善できるところはどこだろう？

既習事項から製造実習につながる考えを書き出すことによって、課題が明確になる。



手立て2

隣の生徒と伝え合う

ステップ2 → 声に出して隣の席の人と意見交換してみよう！

声に出して自分の考えを伝えることで、他者との考えや意見の違いを発見できる。



手立て3

話し合い活動①

ステップ3 → グループでお互い声に出して話し合ってみよう！

グループで話し合いを実施する中で、新たな発見や異なる考えを知ることができる。また、コミュニケーション力が高まる。

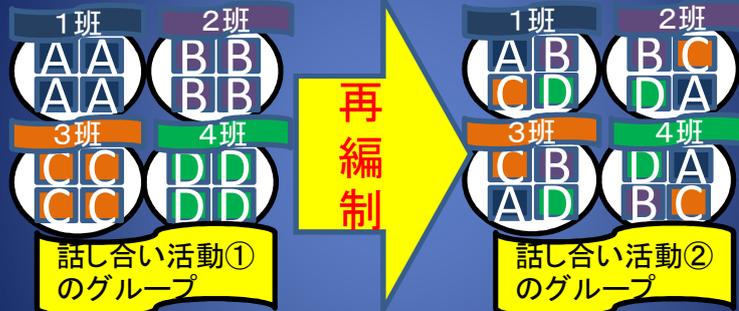


手立て4

話し合い活動②

ステップ4 → 決定した改善案を他のグループの人と話し合おう！

グループを再編制することで、話し合い活動①でまとめた意見や考えを全員が共通理解することができる。また、実習の改善に向けた話し合いの深みを増すことができる。



班を再編制することで生徒全員が意見や考えを共有できる。

成果

- ・話し合い活動を通して、コミュニケーション能力が高まり、意見や考えを共有することで幅広い見方が深まった。
- ・座学で学んだ知識を活かして、実習において改善できる自らの考えをまとめ、他者へ述べることができた。

課題

- ・話し合いの時間を生徒へ周知させることや適切な声掛けをする必要がある。
- ・話し合いに積極的に参加できない生徒への対応を検討したい。